

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
声優演技Ⅱ											
対象	2 年次	開講期	後期	区分	選	種別	実習	時間数	70	単位	2
担当教員	湊崎ゆり子、亀岡真美			実務経験	有	職種	声優				
授業概要											
声優に求められる演技表現を身体表現も合わせて学びます。											
到達目標											
卒業制作で実施する卒業公演に向けて、表現の基礎を固めていくことを目標とする。基本的には前期に学んだ夏の成果発表やマイク前の授業などで経験した事をいかしていき、そして『卒業後』を見据え、一つの課題に愚直に挑戦し研鑽を重ねて行く。本読みで、自ら想像を膨らませ、役柄を深められるように模索していく。それを立体的な表現に結びつける。											
授業方法											
『実践あるのみ!』を掲げ、芝居を学ぶ事により個々人の中に渦巻くエゴを真摯に見つめる一助となればと考える進める。そして自分の目指す役者の世界は、俯瞰的な視点で人間社会を見て、その問題点（事件や争いなど）がどのようなエゴによって起こっているのかを舞台や映像作品などを通じて表現し、観客とともにより良き社会を模索して行く役割があるという事を学生と共に考える授業にする。											
成績評価方法											
真剣に授業に向き合っているか、積極的な授業参加度によって評価する。											
履修上の注意											
授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、公演の本番体制（通し稽古）に入ってから連絡のない遅刻・欠席に関しては、役を降りてもらう可能性がある。後期の授業内では本番日が無いため、成績の評価方法は毎回の授業を成果発表とし、前回の授業からの伸び率を評価に組み込む。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。											
教科書教材											
使用する台本はその都度配布する。											
回数	授業計画										
第1回	本読み1										
第2回	本読み2										
第3回	成果発表用台本の基礎稽古（1）										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
声優・演劇科	
声優演技Ⅱ	
第4回	成果発表用台本の基礎稽古（2）
第5回	成果発表用台本の基礎稽古（3）
第6回	成果発表用台本の応用稽古（1）
第7回	成果発表用台本の応用稽古（2）
第8回	成果発表用台本の応用稽古（3）
第9回	成果発表用台本の応用稽古（4）
第10回	成果発表用台本の応用稽古（5）